

三菱自動車工業株式会社

株主のみなさまへ



平成22年度(2010年度)中間のご報告
2010年4月1日～2010年9月30日

株主通信 ROUTE

Drive@earth



ごあいさつ



取締役社長

益子 修

目次

ごあいさつ	1
決算の概要	2
世界の街を走り始めた「i-MiEV」	5
環境への取り組み	7
新型コンパクトSUV「RVR」の グローバル展開	8
エコカー減税	9
「三菱愛着プロジェクト」をスタート	10
財務諸表(連結)	11
会社の概要/役員	13
株主メモ	14

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

2010年度第2四半期累計期間(2010年4月1日から2010年9月30日まで。以下、上半期)は、当初、高成長を続ける中国をはじめとしたアジア諸国などの新興国に牽引され、世界経済は緩やかな回復傾向にありましたが、ギリシャの財政問題を契機に景気の不透明感が広がり、さらに想定を超える円高の進行が加わって、当社を取り巻く事業環境は一段と厳しさを増しました。このような中、当社の上半期実績は、前年同期比で販売台数は増加、売上高は増収、損益は改善し、いずれも期初公表の計画を上回り、営業利益、経常利益は黒字化しました。

しかしながら、配当につきましては、株主の皆さまには大変申し訳なく存じますが、当上半期も実施を見送らせていただきました。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

引き続き、厳しい事業環境の続くことが想定されますが、期初公表計画の達成に向け、下半期の販売台数計画の着実な達成と円高を打ち返す諸施策に全社一丸となって取り組んでまいります。

どうか皆さまにおかれましても、今後とも倍旧のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

三菱自動車企業理念

大切なお客様と社会のために、走る喜びと確かな安心を、
こだわりをもって、提供し続けます。

当社は三菱グループ共通の経営指針である「三綱領」*の精神を受け継ぐとともに、当社の存在意義と進むべき方向を明確にするため、「三菱自動車企業理念」を制定しています。全ての企業活動はこの企業理念に基づいて進めています。

*「所期奉公」、「処事光明」、「立業貿易」

厳しい事業環境の中、 期初公表の計画を上回る実績を達成

2010年度上半期の連結売上高は、市場の回復や新車投入効果により販売台数が増加し、円高の影響はあったものの、前年同期比51%増の8,647億円となりました。損益面では、円高が減益要因となりましたが、販売台数の増加および資材費などのコスト低減効果に加えて、国内子会社の損益が改善し、営業利益は同394億円増の69億円、経常利益は同412億円増の70億円と黒字化を達成しました。当期利益は同315億円改善し49億円の損失となりました。この結果、当上半期の業績は、

期初の計画値を上回りました。

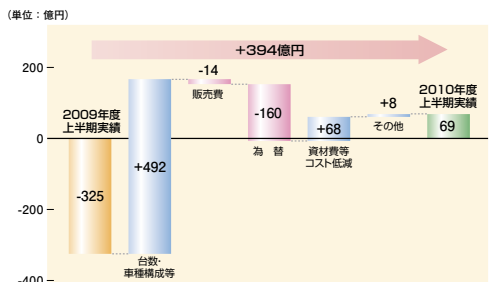
販売台数(小売)は、前年同期比で北米では若干減少しましたが、日本、欧州、アジア・その他地域で増加し、全体では8万2千台増の52万7千台となりました。

日本ではエコカー減税や補助金の効果に加え、新型コンパクトSUV「RVR」の投入により前年同期実績を上回りました。販売が好調に推移した新興国では、特に中国をはじめアセアン諸国、豪州、ブラジルなどが大きく伸長しました。

2010年度上半期実績 (6ヵ月累計、前年同期比)

	2009年度 上半期実績①	2010年度 上半期実績②	差 ② - ①	(単位：億円、千台) 2010年度 上半期計画 上半期計画 (2010年4月27日公表値)
売上高	5,730	8,647	▲+2,917	8,500
営業利益	△325	69	▲+394	50
経常利益	△342	70	▲+412	0
当期利益	△364	△49	▲+315	△90
販売台数(小売)	445	527	▲+82	525

2010年度上半期営業利益 変動要因分析 (前年同期比)



2010年度通期の業績目標達成を目指す

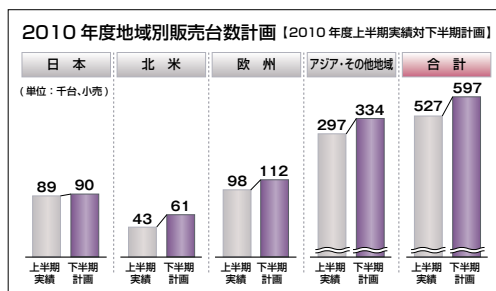
2010年度上半期の業績は期初の計画を上回りましたが、2010年度通期の業績見通しは、足もとの厳しい事業環境を鑑み、期初公表通り営業利益450億円、当期利益150億円としました。

特に、想定を超える円高に対しては、それをメリットとして享受できるよう海外調達の積極的推進も含め、費用削減・コスト低減を一段と強化するとともに、高採算であるSUV系車種の拡販を図ることで対応していきます。

販売台数(小売)については、上半期実績および需要予測、各国における取り組みを考慮し、期初公表と同水準の112万4千台(前年度比16万4千台増)と

しました。上半期実績に対し、日本、北米、欧州、アジア・その他地域の4地域すべてで下半期の販売台数の増加を図ります。

「将来の成長への基盤づくり」という基本方針を掲げた「ステップアップ 2010」の最終年度にあたる2010年度通期の業績目標達成を目指し、全社員とともに全力で取り組んでまいります。

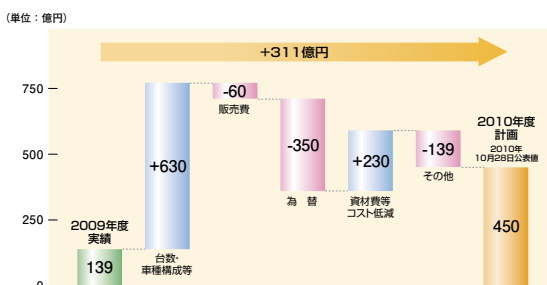


2010年度通期業績見通し

	2010年度計画 (2010年4月27日 公表値)	2010年度計画 (2010年10月28日 公表値)	2009年度 実績
売上高	19,000	19,000	14,456
営業利益	450	450	139
経常利益	300	300	130
当期利益	150	150	48
販売台数(小売)	1,121	1,124	960

(単位：億円、千台)

2010年度営業利益見通し 変動要因分析 (前年度比)



2010年度下半期の重点施策

世界の自動車市場において、新興国では低燃費・低価格の小型車需要が高まっており、先進国では環境意識の高まりにより、電気自動車やクリーンディーゼルエンジンなどの環境技術の普及や車両のコンパクト化が進むなど、需要構造が大きく変化しています。

当社では、このような時代の変化にいち早く対応し、新型コンパクトSUVをグローバルに展開しました。特に欧州、中国などで高い評価をいただき、お客さまからの計画台数を上回るご注文にお応えするため、同一工場生産する「アウトランダー」を生産移管し、新型コンパクトSUVを増産することとしました。

新世代電気自動車「i-MiEV」は、2010年4月より計画通り日本国内で一般のお客さまへの販売も開始し、さらに2010年10月からは、欧州14カ国に向けて欧州仕様車の量産・出荷を開始



「i-MiEV」北米仕様車

しました。加えて2011年秋には、市場の要望に応え「i-MiEV」の拡販車を北米に投入する予定です。

主要市場での取り組みとして、アセアン地域では、タイをグローバルな生産拠点として供給体制を強化するとともに、各国の市場に適した商品を投入します。



新興国を中心に好評の SUV「パジェロスポーツ」(タイ生産車)

中国でも現地生産の新型「ランサーEX」とSUVの拡販を進めているほか、ロシアでは、2010年9月から現地工場において「アウトランダー」の生産を開始しました。

これらの取り組みにより、下半期の販売台数計画は、上半期実績比7万台増の59万7千台としています。

引き続き、厳しい事業環境が続くと想定していますが、下半期の販売台数計画の達成および、費用削減、海外調達も含めたコスト低減を一層強化し、計画の達成に注力してまいります。

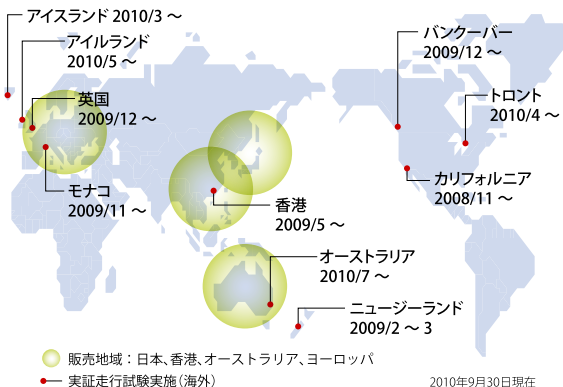
世界の街を走り始めた「i-MiEV」



新世代電気自動車「i-MiEV（アイ・ミーブ）」は、2009年7月に国内で販売を開始して以来、地方公共団体や官公庁、法人、個人のお客さまなどにお乗りいただき、すでに2,800台（2010年9月30日現在）が毎日の暮らしの中で活躍しています。

海外でも、2010年から香港、オーストラリア、ヨーロッパで販売を開始しました。さらに、世界各国の政府や電力会社と共同で実証走行試験を進めており、低炭素化社会の実現に向け、電気自動車の実用化・普及促進に取り組んでいきます。

世界各地でEV時代を切り開く「i-MiEV」



欧州向け「i-MiEV」の生産を開始

2010年10月、水島製作所において、「i-MiEV」の欧州仕様車およびPSA



「i-MiEV」欧州仕様車

プジョー・シトロエン社（以下、PSA社）向けプジョー「iOn」、シトロエン「C-ZERO」の生産を開始しました。

2010年度は欧州向けを中心に5,000台の海外向け車両を生産する計画です。

また、PSA社の小型商用車、プジョー「Partner」およびシトロエン「Berlingo」のEV（電気自動車）化に向けた技術協力に合意し、2012年末までの生産開始を目指し、技術的要件および事業性について、検討を進めます。

米カリフォルニア州政府のEV普及活動に協力

2010年5月、米カリフォルニア州政府の電気自動車普及に向けた取り組みの一環として「i-MiEV」の試乗会を実施しました。

シュワルツェネッガー・カリフォルニア州知事も「i-MiEV」を見学に訪れました。2011年秋には北米市場にも投入する計画です。



電気自動車でECO観光をしてみませんか？

文化遺産の保護と観光振興のため産学官の140団体が参画する「長崎EV&ITSプロジェクト」(通称「長崎エビッツ」)では、環境にやさしいEVとITS(高度道路交通システム)を組み合わせ「未来型ドライブ観光」の実現を目指しています。この一環として、五島列島に「i-MiEV」100台がレンタカーなどとして導入されました。また、京都府では「京都EV・PHV※物語」と題した取り組みを行っています。EVやPHVのタクシーやレンタカーで神社・仏閣を訪れると拝観料が割引される特典も。

※PHV:プラグインハイブリッド車

電気自動車でのECO(エコ)観光を体験してみませんか？



青砂ヶ浦教会と「i-MiEV」
(五島列島)



嵯峨鳥居本を走るEV観光タクシー
(京都 都タクシー)
写真提供 JTB観光情報ナビ

お客様の声

「i-MiEV」ユーザー
木村太郎さん

毎日の仕事での移動(約5km)や、東京から自宅のある湘南まで(約60km)の往復に使っています。購入から1年で1万km近く走りました。仕事場や自宅には充電できる環境が整っているの、不自由はありません。静かでキビキビと走り、乗り心地は非常に快適です。



ジャーナリスト。元NHK記者。
湘南ビーチFM、木村太郎事務所代表。

ワンコイン
おためしアイ・ミーブ
キャンペーン



三菱自動車では、皆さまに「i-MiEV」を手軽にお試しいただくため、1時間500円のレンタルキャンペーンを行っています。お近くの販売店にお問合せの上、事前にご予約ください。

※一部の販売店では実施していない場合があります。
※予約窓口はEVポータル内キャンペーンサイトをご覧ください。

EVポータルサイト

「i-MiEV」を中心にしたEVに関する総合情報ポータルサイトです。ぜひご覧ください。

<http://www.ev-life.com/>



環境への取り組み

新型クリーンディーゼルエンジンを搭載した「パジェロ」登場

三菱自動車が新しく開発した新型クリーンディーゼルエンジンは、排出ガス中の大気汚染物質を大幅に削減しながら、従来の低燃費性や力強さを大きく向上させた次世代のディーゼルエンジンです。このエンジンを

搭載した「パジェロ」は、エコカー減税によって購入時の自動車取得税・自動車重量税が免税となります。

環境に優しく、経済的で、上質感あふれる新しい走りが、始まっています。

世界トップレベルの排出ガス規制をクリア

新型クリーンディーゼルエンジンは、最先端の排出ガス浄化技術で大気汚染物質を大幅に低減し、世界的にも厳しい平成21年排出ガス規制(ポスト新長期規制)に適合しています。また燃焼効率が良いためCO₂の排出量も抑制するなど、地球にやさしい性能を身につけています。

新長期規制 (平成17年排出ガス規制)	PM 0.014g/km	NO _x 0.150g/km
	64%削減	47%削減
ポスト新長期規制 (平成21年排出ガス規制)	PM 0.005g/km	NO _x 0.080g/km

PM(粒子状物質)、NO_x(窒素酸化物)

低燃費:平成27年度燃費基準を達成

コモンレール式燃料噴射システムなどによって、ディーゼルならではの低燃費性がさらに進化し、平成27年度燃費基準を達成しています。また減速時のエネルギーで発電した電気を利用することでも燃費性能の向上へ貢献しています。

	SUPER EXCEED	EXCEED	GR	VR-II
10・15モード燃料消費率※1 (km/ℓ)	10.2	10.6※2	10.6※2	10.6
JC08モード燃料消費率※1 (km/ℓ)	10.0	10.4※3	10.4※3	10.4

※1:この値は国土交通省審査値です。燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。なお、JC08モード走行は10・15モード走行に比べ、より実際の走行に近くなるよう新たに設けられた試験方法で、一般的に燃料消費率はやや低い値になります。

※2:車両重量が2,265kgを超えた場合10.2km/ℓ
※3:車両重量が2,270kgを超えた場合10.0km/ℓ



欧州向け「ASX」にアイドルストップ機能付きの直噴ディーゼルエンジンを搭載

「ASX」は、2010年2月に日本で販売を開始した新型「RVR」の海外仕様車です。三菱自動車と三菱重工業株式会社と共同で開発した、アイドルストップ機能付きの1.8L 直噴ディーゼルエンジン「DI-D MIVEC」(可変ターボチャージャー付き)を搭載し、6速マニュアルトランスミッションを組み合わせることで、優れた環境性能を実現しました。このディーゼルエンジン

は、今後ディーゼル需要の高い欧州向けの「ランサー」、「アウトランダー」にも搭載する予定です。



直噴ディーゼルエンジンを搭載した「ASX」

低炭素社会の早期実現に向けて




三菱自動車は、地球環境の保全へ向けた取り組みをいち早く進めています。2008年7月には、「エコ・ファースト企業」として環境大臣より認定を受け、

2009年6月5日の世界環境デーに「三菱自動車グループ環境ビジョン2020」を発表。その1カ月後の7月には新世代電気自動車「i-MiEV」の販売を開始し、低炭素社会の実現に向け走り出しています。

新型コンパクトSUV「RVR」のグローバル展開

2010年2月に日本で発売した「RVR」のグローバルな販売を進めています。6月には、欧州市場へ「ASX」の名称で投入し、

中国・アセアン・豪州などへも展開しました。下半期には中東・アフリカ、中南米、北米市場へ投入する計画です。

	2009年度		2010年度		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
* 日本名: RVR	日本*				
* 欧州名: ASX			欧州*(ロシア・ウクライナ含む)		
* 米国名: Outlander Sport			北アジア (中国)		
			アセアン		
新型コンパクトSUV			豪州		
				中東・アフリカ	
					中南米
					北米*



「アウトランダー スポーツ」(米国向け) 優れた燃費と低排出ガス性能を実現

エコカー減税

まだまだ継続中!

2009年4月よりスタートしたエコカー減税は、まだ継続中。自動車税のグリーン税制と合わせ、環境対応に優れたクルマの購入が大変お得になっています。

主なエコカーの優遇金額

優遇金額は購入時の自動車取得税と自動車重量税を合わせた額です。

OUTLANDER
TRAIL
(アウトランダー
ロードスト)



75%
減税

G ロードスト リミテッド エディション (2WD) **優遇 117,600円**

BELICA
(デリカディーファイブ)



75%
減税

G シャモニー(4WD) **優遇 152,100円**

RVR
(アールブイアール)



50%
減税

G G (2WD) **優遇 69,400円**

COLT
(コルト)



75%
減税

G クリーン エア エディション (2WD) **優遇 72,400円**

EK WAGON
(イーケー・ワゴン)



50%
減税

G MX(2WD) **優遇 18,900円**

Toppo
(トッポ)



50%
減税

G M(2WD) **優遇 19,300円**

(注) ●自動車取得税、自動車重量税の税額減額は、オプションを含まない車両重量、メーカー希望小売価格をベースにしています。その他の対象グレードと減税額など、詳しくはお近くの販売店におたずねください。
●掲載の内容は2010年12月現在のものです。

三菱自動車の対象車種など詳しくはお近くの販売店またはお客様相談センターへお問合せください。

カタログのご請求・お近くの販売店検索は…
三菱自動車 お客様相談センター



0120-324-860

月～金:9時～17時
土:9時～12時・13時～17時

www.mitsubishi-motors.co.jp/purchase/

携帯電話からも
お近くの販売店を検索できます





「三菱愛着プロジェクト」をスタート

三菱自動車は、2010年6月5日より、「一人でも多くのお客さまに、より長く三菱車にお乗りいただきたい」という願いを込め、全国の販売会社と一体となって「三菱愛着プロジェクト」をスタートしました。

「気に入ったモノと、長くつきあっていきたい」、そんな時代だから、三菱自動車は、お客さまとクルマとの新しいつきあい方を提案します。

基準は、1台の三菱車に、ずっと愛着を持って乗り続けていただくこと。クルマ自体が「丈夫で長持ち」なことはもちろん、「1台のクルマ

をずっと好きでいる気持ち」を持ち続けていただくために愛着メニューをご用意しました。新しい時代に、まず三菱が、新しい一歩を踏み出します。

是非、お近くの三菱のお店へ。



©愛着トリアイHP



最長 **10年10万km**
特別保証延長

従来、5年または10万kmとしていた特別保証を、国内自動車メーカー初の最長10年または10万kmまで延長。

※本保証延長はご購入された時期、車種によっては対象にならない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



愛着 **リフォーム** サービス

ライフスタイルの変化に合わせ、気持ちよく三菱車に乗り続けていただけるよう、各種リフォームサービスを提供。



愛着 **クーポン**

キーレスエントリーキーの電池交換無料や、「洗車」や「ガラス撥水」などのクイックカーメニューを中心とした、お得な特典をご提供するクーポン券を配付。

※クーポンのご利用期間は2011年3月まで

リフォームハーティエーラン 国内初の後付福祉車両

国内初のサービスとしてムービングシート（助手席電動回転シート）が、後付可能になりました。（eKワゴン・トップ限定）



中古車
リフォーム
ハーティエーラン

- 中古車にムービングシートを後付
- 中古車だから、新車で買うよりお手頃価格
- 運転席の交換 & 新品リヤシートカバー

愛車
リフォーム
ハーティエーラン

- 現在お乗りのクルマにムービングシートを後付
- 思い出がいっぱいのご愛車をチェンジ
- 運転席の交換 & 新品リヤシートカバー

詳しくは愛着力サイトを
ご覧ください！
おトクな愛着クーポンをプレゼント。
愛着会員も募集中!!



愛着力サイト: <http://aichaku.jp/>

財務諸表(連結)

連結貸借対照表

科 目	当第2四半期	前年度末	科 目	当第2四半期	前年度末
	連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	(平成22年3月31日現在)		連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	(平成22年3月31日現在)
(資産の部)	百万円	百万円	(負債の部)	百万円	百万円
流動資産			流動負債		
現金及び預金	283,362	264,323	支払手形及び買掛金	284,508	265,028
受取手形及び売掛金	105,906	121,385	短期借入金	300,596	319,374
商品及び製品	127,599	115,166	1年内償還予定の社債	-	200
仕掛品	23,752	25,847	その他	182,542	188,674
原材料及び貯蔵品	40,360	42,855	流動負債合計	767,647	773,278
その他	99,514	113,947	固定負債		
貸倒引当金	△ 9,947	△ 10,448	長期借入金	70,748	73,174
流動資産合計	670,548	673,077	その他	183,938	177,738
			固定負債合計	254,686	250,913
固定資産			負債合計	1,022,334	1,024,191
有形固定資産	385,242	408,234	(純資産の部)		
無形固定資産	11,198	12,435	株主資本		
投資その他の資産	177,375	164,922	資本金	657,355	657,355
固定資産合計	573,816	585,592	資本剰余金	432,666	432,666
			利益剰余金	△ 770,755	△ 765,988
資産合計	1,244,364	1,258,669	自己株式	△ 15	△ 15
			株主資本合計	319,250	324,017
			評価・換算差額等	△ 107,161	△ 99,832
			少数株主持分	9,940	10,293
			純資産合計	222,029	234,478
			負債純資産合計	1,244,364	1,258,669

資産合計:前年度末から143億円減少

前年度の第4四半期に比べ売上高が減少したことなどによる売上債権の減少が主因。販売台数が堅調に推移したことなどにより現金預金は増加。

負債合計:前年度末から19億円減少

直近での生産台数の増加による仕入債務の増加があったものの、有利子負債残高は長期借入金の約定返済などにより減少したことが主因。

純資産合計:前年度末から124億円減少

上半期の当期利益が赤字であったことによる減少が主因。

連結損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
	百万円	百万円	百万円
売上高	573,029	864,678	1,445,616
売上原価	502,089	737,398	1,211,635
売上総利益	70,939	127,279	233,980
販売費及び一般管理費	103,441	120,392	220,060
営業利益(損は△)	△32,502	6,887	13,920
営業外収益	7,876	9,092	17,020
営業外費用	9,563	9,026	17,960
経常利益(損は△)	△34,189	6,953	12,980
特別利益	2,549	879	3,859
特別損失	2,605	4,252	5,248
税金等調整前四半期(当期)純利益(損は△)	△34,245	3,580	11,591
法人税等合計	732	6,519	4,290
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益(損は△)	-	△ 2,939	-
少数株主利益	1,426	1,994	2,542
四半期(当期)純利益(損は△)	△36,404	△ 4,933	4,758

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2	61,975	100,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,071	△21,749	△22,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,832	△16,393	30,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,176	△4,610	△584
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,582	19,223	108,688
現金及び現金同等物の期首残高	154,666	263,453	154,666
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	25	22	25
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	73	-	73
現金及び現金同等物の四半期末残高	171,347	282,699	263,453

会社の概要 (平成22年9月30日現在)

社名	三菱自動車工業株式会社
本社	〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号 TEL: 03-3456-1111 (大代表)
設立	昭和45年4月22日
従業員数	連結: 31,094名 単独: 13,542名 ※上記は休職派遣者を含み、執行役員および準社員は含みません。
資本金	657,355,059,926円
発行可能株式総数	9,961,597,000株 (内訳) 普通株式 9,958,285,000株 A種優先株式 438,000株 B種優先株式 374,000株 C種優先株式 500,000株 D種優先株式 500,000株 E種優先株式 500,000株 F種優先株式 500,000株 G種優先株式 500,000株
発行済株式総数	5,538,394,433株 (内訳) 普通株式 5,537,956,840株 A種優先株式 99,000株 G種優先株式 338,593株
株主数	普通株式 403,812名 A種優先株式 12名 G種優先株式 4名

技術センター	岡崎地区 〒444-8501 愛知県岡崎市橋目町字中新切1番地 TEL: 0564-31-3100 京都地区 〒616-8501 京都府京都市右京区太秦巽町1番地 TEL: 075-864-8000 十勝研究所 〒080-0271 北海道河東郡音更町字長流枝22番1 TEL: 0155-32-7111
製作所	名古屋製作所 岡崎工場(組立) 〒444-8501 愛知県岡崎市橋目町字中新切1番地 TEL: 0564-31-3100 水島製作所(組立) 〒712-8501 岡山県倉敷市水島海岸通一丁目1番地 TEL: 086-444-4114 パワートレイン製作所 京都工場(エンジン) 〒616-8501 京都府京都市右京区太秦巽町1番地 TEL: 075-864-8000 パワートレイン製作所 滋賀工場(エンジン) 〒520-3212 滋賀県湖南市小砂町2番1 TEL: 0748-75-3131 パワートレイン製作所 水島工場(エンジン、トランスミッション) 〒712-8501 岡山県倉敷市水島海岸通一丁目1番地 TEL: 086-444-4114

役員 (平成22年9月30日現在)

取締役	
西岡 喬*	取締役会長 (三菱重工業株式会社相談役)
益子 修*	取締役社長
前田 真人*	取締役副社長
市川 秀*	取締役副社長
春成 敬	常務取締役
相川 哲郎	常務取締役
青砥 修一	常務取締役
上杉 雅勇	常務取締役
太田 誠一	取締役
黒田 浩	取締役
二木 史郎	取締役
佐々木幹夫	取締役 (三菱商事株式会社取締役相談役)
矢嶋 英敏	取締役 (株式会社水島津製作所相談役)

監査役	
氏田 憲秀	監査役(常勤)
村本 修三	監査役(常勤)
三木 繁光	監査役(株式会社三菱東京UFJ銀行特別顧問)
岡本 行夫	監査役(株式会社岡本アソシエイツ代表取締役)
河本雄二郎	監査役(三菱重工業株式会社取締役、常務執行役員)

- (注) 1. *印は代表取締役を示しています。
2. 取締役 佐々木幹夫氏および矢嶋英敏氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
3. 監査役 三木繁光氏、岡本行夫氏および河本雄二郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株主メモ

- **事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで
- **定時株主総会開催日** 6月
- **同総会議決権行使株主確定日** 3月31日
- **期末配当金支払株主確定日** 3月31日
- **中間配当金支払株主確定日** 9月30日
- **その他の基準日** 上記のほか必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
- **公告の方法** 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは東京都内において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
(公告掲載アドレス)
<http://www.mitsubishi-motors.com/jp/corporate/ir/stockinfo/koukoku.html>
- **1単元の株式数** 普通株式は1,000株 優先株式は1株
- **証券コード** 7211
- **株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社
- **同事務取扱場所** 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
- **郵便物送付先・電話照会先** 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL:0120-232-711 (フリーダイヤル)

※住所変更、単元未満株式買取請求、その他各種お手続き等のご請求について

1. 証券会社等の口座をご利用の場合・・・お取引の証券会社等にお問合せください。
2. 「特別口座」に記録されている場合・・・三菱UFJ信託銀行株式会社(TEL:0120-232-711)にお問合せください。

三菱自動車ウェブサイト投資家情報ページ

当社では決算情報をはじめ、アニュアルレポートやファクトブック、社会・環境報告書などをウェブサイトに掲載しています。アニュアルレポートでは、当社の財務状況や事業活動について詳しく説明しています。また、過去の株主通信もご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

<http://www.mitsubishi-motors.com/jp/corporate/index.html>



株主通信 ROUTE

三菱自動車工業株式会社
平成22年度(2010年度)中間のご報告

広報部 平成22年12月発行
〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号
TEL:03-3456-1111 (大代表) <http://www.mitsubishi-motors.co.jp>

再生紙を使用しています

